

# 学校だより 希望の鐘

ひとつの希望はいちどしかひらかない



八戸市立  
小中野中学校  
平成30年6月12日(火)  
No.118 文責：校長  
工藤聡

## 記憶に残る生徒の一人 Fくん

私は、教員採用試験（公務員としての先生になるための試験。各都道府県や政令指定都市で1年に1回実施される）になかなか合格できず、30歳でやっと先生になることができました。ですから、これまでちょうど30年間、先生をやってきたこととなります。その間、9年間学級担任を務めたのですが、記憶に残っている生徒が何人かいます。きょうは、その中のFくんの話をしたと思います。

私は、3年生の学級担任をすることが多かった（9年間のうち6年）のですが、Fくんも3年生の時、私が担任でした。学級通信の中で、生徒一人ひとりの良さをクラスメイト全員に書いてもらうということをやっていました。その当時の学級通信を見てみると、Fくんに対しては「とてもイキがよくて江戸っ子みたい」「明るくておもしろくてやさしい」「熱血してる」「ノリがよい」という感想がほとんどでした。また、隣の女子とどこのラーメンが美味しいか言い争いになった時、その女子が好きだと言ったお店にすぐ行き、普通のラーメンと味噌ラーメンの両方を食べるという行動力も持ち合わせていました。

このFくんですが、八戸市内の野球強豪校である私立高校に進学しました。二歳年上のお姉さんが、その高校の野球部のマネージャーをしていたということもありますが、やはり甲子園を目指したいと思ったのだと思います。ただ、Fくんと同じポジション（キャッチャー）には、中体連夏季の県大会で優勝か準優勝だったチームの生徒も同じ学年でいたこともあって、3年生になるまではずーっと控え（補欠）でした。

硬式野球部の生徒にとって、最後の大会は夏の甲子園県予選です。その2週間くらい前、新聞に各校の選手がポジションごとに名前が載るのですが、Fくんの高校を見て驚きました。なんと、Fくんがキャッチャーの正選手として登録されているではありませんか。その高校の監督さん（その学校の先生で、甲子園でベスト8に導いたこともある人です）を私も知っていましたので、思わず電話をして「どうしてFくん

が、キャッチャーのレギュラーなんですか？」と聞いていました。監督さんは「とにかく元気に声を出すんだよ。明るく、一生懸命声をかけるから、いつの間にかチームもビシッと引き締まるし、盛り上がるんだ。Fくんはいいねえ。」という答えでした。

たぶん、入学した頃は、キャッチャーとしては、チーム内で一番下手だったと思います。まじてや、同学年にすごい選手もいました。力不足を嘆いたり、もしかするとあきらめかけたこともあるかもしれません。それでも、自分の持ち味を出して、地道に努力し続けた結果、最終的に正選手となって最後の大会に出場できるまでになりました。本当にスゴイと思わずにはられません。

市中体夏季大会まで、あと4日です。最後の練習や調整に余念がない（ヨネンガナイ：ほかのことを考えず、一つのことに集中すること）と思います。ただ、みなさんの中には、単純に疲れていたり、もしかするとプレッシャーを感じてイライラしていないでしょうか。あるいは正選手として試合に出れないことにガッカリしていないでしょうか。そんな人こそ、Fくんのことを見習ってください。自らができることは何か考え、とにかく遮二無二（シャニムニ：ほかのことを考えず、ただひたすらに）現在やれることをやってください。それは、自分の所属する部の練習や試合だけではなく、応援団の一員として声を出すことでもあり、「チーム小中野」として颯爽（サッソウ：姿や態度、行動がきりっとして、見る人にさわやかな印象を与える様子）と入場行進する時も同様です。そんなことをやり遂げる生徒がそろった時に、学校全体としての納得いく結果が得られそうな気がします。

Fくんは、最後の大会では甲子園に出場することはできませんでした。残念なことではありますが、3年間その高校や野球部で得たことはその後の人生に絶対に活かされているのだと思います。現在は海外で忙しく仕事をしているそうです。

## 家族の応援も力に変えて

先日、小中野中学校の卒業生であり、現在在学している生徒の祖母の方からお便りをいただきました。大変うれしい内容であり、みなさんに考えてもらいたいこともありましたので、紹介します。

前略御免下さいませ。はじめまして。孫がお世話いただいております。ありがとうございます。  
校長先生の学校だより「希望の鐘」を読ませていただいて久しくなります。私は現在、小中野学区外に住んでおりますが、もともと小中野小、小中野中の出身なものですから、小学校の校歌、中学校の校歌を、時折孫と一緒に歌えることに喜びを感じておりました。とともに、工藤校長先生の学校だよりを毎回娘が届けてくれますので、楽しみに読ませていただき、ファイルしております。読む時々に、「アーそうかー」とか、「私も同感!」と思ったり、なるほどと私自身の反省材料にもさせていただいております。また、昔私が教えていただいた「継続は力なり」を再確認している昨今でございます。似顔絵も似ているかどうかは別として、イメージとして校長先生の容貌がわかる? ような気がしております。余談ですが、私の時の校長先生は、小沼勉先生でした。“ひとつのつぼみはいちどしかひらかない”は、今でも鮮明に心に焼き付いております。  
孫が尊敬できる工藤校長先生と出会えたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。どうぞ、私のファイルが増えますことを念願しております。乱筆乱文をお許しくださいませ。

とても温かい内容で、読んだ後は心がホッとするような感じでした。私に届けてくれた方(手紙をくれた方の娘さんで、小中野中に在学している生徒のお母さん)によれば、何度も書き直したということでした。「乱筆乱文」と書いておりますが、とても丁寧な優しい字でありました。本当にありがとうございました。

「孫が尊敬できる校長先生に出会えた」等、私にとっては過分(カブン:分に過ぎた扱いを受けること)な誉め言葉であり恥ずかしくもなりますが、そうなれるように努力したいと思っております。私が特に心に残ったのは「小学校の校歌、中学校の校歌を、時折孫と一緒に歌えることに喜びを感じておりました」というところです。お孫さんを心から慈しみ(イツクシム:愛情をそそいで大事にすること)応援していることがわかります。これは、私に手紙をくれた方だけではなく、ほかの保護者の方も祖父母の方も同様なのだと思っております。みなさんの中には、ご家族の方に対して「絶対に試合を見に来ないで◎」という人もいるようです。自分が真剣に、一生懸命やっているところを見られるのが照れくさいのかもしれませんが、ご家族としては見て応援したいのは当然のことです。それは、みなさんが親になればよくわかることです。市中体夏季大会では、ご家族の応援も自分とコナ中の力に変えて、納得のいく結果を目指せば…と思っております。

手紙をいただいたことに心より感謝申し上げます。どれだけ出せるかわかりませんが頑張ります。(手紙を学校だよりに掲載することに関しては、ご家族の了解を得ております。また、文章につきましては、漢字をひらがなにするなど、若干変えております。)

### 【今日のひとりごと】

●先日、八戸市青少年海外派遣団の一員として、中国に行っていた 年 組の さんが帰国しました。感想を聞くと、とても充実した旅行になったようです。その内容については、文化祭等で発表する機会もあると思います。ところで、学校や先生方等いろいろお土産を買って来てくれたのですが、私にはフルネームを刻んだ印鑑をくれました。お土産をいただいたこともそうですが、それよりもっとうれしいことがありました。ほかの中学校の生徒の中にも、校長先生に印鑑をお土産にした人もいたようですが、名字はわかっていても下の名前がわからず、団長で行ったある学校の校長先生に聞いて確認した人が何人かいたようです。さんは、その団長の校長先生に聞くこともなく、私のフルネームを覚えていてくれたことが、何よりもうれしかったです。ありがとうございました。大事に使わせていただきますよ。



●今日の私の似顔絵は、 年 組の さんに描いてもらいました。目がパッチリしていて、若い時の私に似ている…ということにしましょう。一昨日、根城中での卓球部の練習試合で、 さんと さんのダブルスの試合を見ました。一球一球集中しているところが、何よりもいいところだと感じました。どんなに劣勢(レッセイ:戦いで不利であること)であっても、必ずチャンスは訪れるはずですよ。それをものにできるよう、まずは声を出し、自らを鼓舞して(コブスル:気持ちを奮い立たせること)チームの勝利に貢献してください。